

# 第1号議案 平成28年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件

## 第1 事業報告書

一般社団法人日本遊技関連事業協会（以下「日遊協」という。）は、内閣総理大臣から社団法人設立の許可を得て、平成元年7月3日に設立され、設立目的である遊技産業界の健全化、適正化、近代化及び社会的地位の向上に向けて、各種事業を積極的に推進してきた。現在は、平成20年12月1日公益法人改革3法の施行に伴い、平成26年4月1日より一般社団法人として活動している。

平成28年度は前年度に引き続き、事業計画と合せて、「重点推進事項」を掲げ、これを推進し、セキュリティ対策の検討、遊技機リサイクルの推進をはじめ、各委員会等を開催した。また、平成6年度から遊技機販売業者の登録制度、遊技機取扱主任者講習及び試験、店長等講習及び試験を実施しているが、平成16年7月1日の改正検定規則等の施行に伴い、遊技機販売業者登録制度に関する規程の一部改正、遊技機取扱主任者に関する規程及び店長等講習及び試験に関する規程を制定し、各事業の充実強化を図っている。

日遊協独自の主な事業活動としては、人材育成委員会により合同就職説明会、女性活躍推進フォーラム、遊技機委員会によりパチンコ・パチスロフェスタ、広報調査委員会によりパチンコ・パチスロファンアンケート調査等を行った。また、社会貢献・環境対策委員会では、東日本大震災ボランティア活動の一環として、平成25年度より林野庁が推進する「みどりのきずな再生プロジェクト」に基づく海岸防災林の再生活動へ参画しクロマツ等の植栽を継続して行っている。

さらに、業界における諸問題・課題を解決するために、風営法PT、依存問題PTを設置し議論を重ねている。主な事業の実施状況等は、次のとおりである。

## I 総務関係

### 1 会員の状況

時 期	正 会 員	賛助会員	合 計
設立時(元. 7. 3)	154	0	154
元年度( 2. 3. 31)	205	6	211
2年度( 3. 3. 31)	405	18	423
3年度( 4. 3. 31)	570	24	594
4年度( 5. 3. 31)	760	25	785
5年度( 6. 3. 31)	771	28	799
6年度( 7. 3. 31)	794	31	825
7年度( 8. 3. 31)	760	36	796
8年度( 9. 3. 31)	718	41	759
9年度(10. 3. 31)	642	41	683
10年度(11. 3. 31)	610	37	647
11年度(12. 3. 31)	598	34	632
12年度(13. 3. 31)	579	35	614
13年度(14. 3. 31)	565	33	598
14年度(15. 3. 31)	543	27	570

15 年度(16. 3. 31)	516	33	549
16 年度(17. 3. 31)	502	32	534
17 年度(18. 3. 31)	490	31	521
18 年度(19. 3. 31)	466	32	498
19 年度(20. 3. 31)	442	33	475
20 年度(21. 3. 31)	407	32	439
21 年度(22. 3. 31)	383	39	422
22 年度(23. 3. 31)	369	44	413
23 年度(24. 3. 31)	351	54	405
24 年度(25. 3. 31)	340	66	406
25 年度(26. 3. 31)	335	73	408
26 年度(27. 3. 31)	327	79	406
27 年度(28. 3. 31)	348	78	426
28 年度(29. 3. 31)	343	80	423

2 役員（理事・監事）名（平成29年3月31日）

役員	氏名	役員	氏名	役員	氏名
会長	庄司 孝輝	常務理事	伊東 慎吾	理事	日野 洋一
副会長	大饗 裕記	理事	内ヶ島隆寛	〃	平本 直樹
〃	大久保正博	〃	岸野 誠人	〃	吹浦 忠正
〃	兼次 民喜	〃	木原 茂成	〃	福山 裕治
〃	谷口 久徳	〃	小林 友也	〃	美山 正広
〃	筒井 公久	〃	篠原 菊紀	〃	柳 秀明
〃	韓 裕	〃	白石 良二	〃	山口 悟
〃	樋口益次郎	〃	知念 安光	〃	山田 久雄
〃	日野 泰昌	〃	堤 義成	〃	吉村 泰彦
〃	福井 章	〃	西村 拓郎	監事	加藤 義久
専務理事	堀内 文隆	〃	東野 昌一	〃	畠山 和生

3 第28回通常総会の開催状況

年月日	平成28年6月9日（木）
場所	ハイアットリージェンシー東京
出席正会員数	正会員277名（委任状提出142名を含む。）
議案	第1号議案 平成28年度事業報告書及び決算報告書の承認に関する件 第2号議案 理事報酬の件 第3号議案 役員を選任に関する件 第4号議案 団体会員の入会に関する件

#### 4 理事会の開催状況

	年月日(曜)	議 題
第1回	28. 5. 19 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件 2 平成27年度収支決算報告書(案)及び公益目的支出計画実施報告書(案)に関する件 3 平成28年度収支予算書(案)に関する件 4 理事報酬の件 5 役員を選任に関する件 6 団体会員の入会に関する件
第2回	28. 7. 21 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件 2 団体会員に関する規程の一部改正について
第3回	28. 9. 15 (木)	新規入会会員の承認に関する件
第4回	28. 11. 17 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件
第5回	28. 1. 12 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件
第6回	29. 3. 16 (木)	1 新規入会会員の承認に関する件 2 平成29年度事業計画及び重点推進事項(案)に関する件 3 平成29年度収支予算(案)に関する件

#### 5 臨時理事会

年 月 日	平成28年6月9日 (木)
場 所	ハイアットリージェンシー東京
議 案	会長、副会長、専務理事及び常務理事の互選について

#### 6 専門委員会

日遊協の事業の適性かつ効果的な運営に資するため、会長から諮問を受けた事項について調査審議するため、常設の4専門委員会と必要に応じて設置されるPT(プロジェクトチーム)に再編し、シンプルな構成で責任の所在を明確にするとともに課題解決のスピードアップを図るものとした。専門委員会として広報調査、人材育成、社会貢献・環境対策、遊技機の4委員会。PTとして風営法、依存問題が開催されている。

#### 7 貯玉補償基金

平成15年5月、北海道の(株)オーテミが倒産した際、ジャパンネットワークシステム(株)と(株)マースエンジニアリングが3店に対する補償、5店に対する緊急救済措置を講じたことにより、貯玉補償基金、自工会の貯玉保証基金及び(株)マーステクノサイエンスの貯玉補償基金の統合、

基金未加入店への加入促進、ファンに対する加入店の情報公開等を図るため、経営委員会委員長を代表とし、ジャパンネットワークシステム(株)、自工会関係社及び日遊協による貯玉保証推進会議を同年12月に発足させ、実務担当者による分科会を含めて、開催している。

平成17年12月、「新貯玉補償基金設立準備室会議」を開設し、委員に公認会計士(税理士)・弁護士の参画を求めて細部の詰めを行い、同基金の有限責任中間法人化の準備を行い、平成19年3月、法人登記を完了した(その後の法改正に伴い、平成20年12月に一般社団法人とした。)。平成20年3月末には、貯玉補償基金に自工会基金及びマースエンジニアリング基金の統合を完了した。平成22年2月9日には、(株)オーイズミがセンター事業者となった。平成29年3月末で加盟ホール数6,486店となった。(事務局ジャパンネットワークシステム株式会社)

## 8 その他の会議等

### (1) 警察庁保安課との連絡会議

警察庁保安課の課長以下幹部と日遊協会長、副会長及び会長経験者等により「当面の諸問題について」4月及び10月に定期的に会議を開催している。

### (2) 正副支部長会議

年3回定例開催し業界課題についての方針の決議等を行っている。また、緊急検討事項がある際は臨時開催している。

### (3) 支部運営会議

年3回定例開催し、支部の運営状況や業界課題についての情報共有している。

### (4) 支部事務所長会議

毎年4月に、本部、支部相互の意思疎通を図り、両者が一体となった活動を期すため、当面の諸問題について協議、打ち合せの会議を開催している。

### (5) 記者会見

総会及び理事会終了後に、業界誌(紙)記者との会見を開き、その審議内容等について説明、質疑に応じている。このほか、一般マスコミを含めて、個別取材に随時対応している。

## II 事業関係

### 1 教育セミナーの実施状況(敬称略)

年月日	場 所	講 師	講 演
28.4.7	グランドハイアット福岡	R S N 西村代表理事	パチンコ依存(のめり込み)について
		日遊協依存問題 PT 安藤リーダー	自己申告プログラムについて
28.4.15	KKRホテル大阪	日遊協 大久保副会長	今後の遊技機を中心として業界動向について
		近畿支部セキュリティー対策部会	最近のゴト事例紹介とゴト対策について

28. 5. 10	メルパルク広島	日遊協風営法 PT 茂木リーダー	遊技機をめぐる課題等
28. 5. 17	ホテルレオパレス札幌	登山家 栗城氏	一步を踏み出す勇気
28. 5. 16	名古屋ガーデンパレス	日遊協遊技機委員会 内藤委員長	新たな遊技機（ちよいパチ）等について
28. 6. 1	パレスへいあん	日遊協遊技機委員会 内藤委員長	パチンコ業界の展望とちよいパチの可能性について
		日遊協風営法 PT 茂木リーダー	パチンコ業界の諸問題と今後について
		日遊協 大久保副会長	遊技業界の健全化について
28. 7. 20	福岡県遊技会館	日遊協遊技機委員会 内藤委員長	ちよいパチの経緯とホールにおける運用上の注意点について
28. 9. 20	アイリス愛知	(公社)愛知県風俗環境浄化協会 平川課長	風俗営業の適正化について
28. 9. 15	ホテルオークラ札幌	(株)セコマ 丸谷社長	地域の資源を活かす
29. 3. 22	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り	警視庁生活安全局保安課 新井主任	立入時の違反状況と改善事項について
		日遊協風営法 PT 茂木リーダー	パチンコ依存症対策の強化について
29. 3. 24	パレスへいあん	諏訪東京理科大 篠原教授	遊技障害（いわゆるパチンコ依存）、遊技における快樂増幅
		日遊協 堀内専務理事	業界の諸問題について～日遊協活動を中心に～
		日遊協 大久保副会長 ニラク 大石経営企画室長 北上文化 金山部長 日遊協風営法 PT 茂木リーダー	討論： どうすっぺ？遊技産業@とうほく

## 2 遊技機販売業者登録制度の実施状況

遊技機の取扱いの適正化を図るため、関係団体と協議し、平成6年5月に「販売業者登録制度に関する規程（以下「登録規程」という。）を制定し、「遊技機販売業者の登録業務」及び「遊技機取扱主任者講習及び試験」を実施してきた。

平成16年7月1日から改正検定規則等が施行されたことに伴い、遊技機取扱主任者に関する規定を登録規程から削除するとともに登録規程の一部を改正し、規程の名称も「遊技機販売業者登録に関する規程」に改めた。平成28度は、次のとおり実施した。

### (1) 登録資格審査委員会

年月日(曜)	場 所	議 題
28. 6. 3	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査
28. 9. 9	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査
29. 2. 28	本部 会議室	(1) 新規登録申請販売業者の審査 (2) 更新申請登録販売業者の審査

## (2) 販売業者の登録状況（平成28年度）

	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	その他	合計
新規	12	1	0	0	0	13
更新	109	100	5	3	0	217

## (3) 平成29年3月31日現在登録販売業者

団体	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	その他	合計
業者数	538	315	8	7	7	875

## 3 遊技機取扱主任者講習及び試験の実施状況

平成16年7月1日から改正検定規則等の施行に伴い、新に「遊技機取扱主任者に関する規程」を制定し、更新時講習の時間を増やすとともに試験を実施して、その充実を図っている。

平成28年度は、平成28年4月1日から遊技機製造業者の業務委託に関する規程の施行に伴い、遊技機取扱主任者の資格を有する者は、新台の設置確認、部品交換後の点検確認を行うことが可能となったので、特に新規講習の回数を増やして、次のとおり実施した。

## (1) 新規講習及び試験の実施状況

地区	開催日	場所	申込者	受講者	受験者	合格者
北海道	平成28年 6月6日(月)	札幌	204	202	202	189
東北	〃 5月10日(火)	仙台	256	251	251	225
東京 ・ 関東	〃 4月5日(火)	東京	160	157	157	148
	〃 4月20日(水)	〃	302	295	295	269
	〃 4月27日(水)	〃	380	357	357	304
	〃 6月27日(月)	〃	408	405	405	324
	〃 6月30日(木)	〃	322	312	312	251
	〃 7月19日(火)	〃	320	297	297	251
	〃 9月15日(木)	〃	625	597	597	514
	〃 ※10月14日(金)	〃	300	295	295	282
	〃 10月27日(木)	〃	750	718	718	611
	〃 12月7日(水)	〃	380	367	367	325
平成29年	1月18日(木)	〃	492	473	473	427

中 部	平成 28 年 7 月 14 日(木)	名古屋	276	264	264	217
	〃 11 月 10 日(木)	〃	271	257	257	230
近 畿	〃 5 月 31 日(火)	大 阪	431	416	416	397
	〃 8 月 31 日(水)	〃	419	413	413	387
	〃 9 月 26 日(月)	〃	519	497	497	391
	〃 11 月 24 日(木)	〃	390	367	367	307
	〃 ※12 月 19 日(月)	〃	399	383	383	336
	平成 29 年 2 月 15 日(水)	〃	376	353	353	330
中 国	平成 28 年 5 月 18 日(水)	広 島	276	264	264	215
九 州	〃 8 月 4 日(木)	福 岡	196	189	189	173
	〃 9 月 6 日(火)	〃	428	415	415	392
沖 縄	※平成 29 年 2 月 2 日(木)	沖 縄	126	126	126	121
計			9,006	8,670	8,670	7,616

※印 全日遊連組合員ホール専用開催

(2) 更新時講習及び試験の実施状況

地 区	開 催 日	場 所	申 込 者	受 講 者	受 験 者	合 格 者
北海道	平成 28 年 6 月 6 日(月)	札 幌	155	152	152	151
	〃 7 月 7 日(木)	〃	59	59	59	52
東 北	〃 4 月 14 日(木)	仙 台	127	121	121	117
	〃 5 月 11 日(水)	〃	86	83	83	77
東 京 ・ 関 東	〃 4 月 6 日(水)	東 京	140	137	137	136
	〃 4 月 21 日(木)	〃	266	262	262	258
	〃 7 月 1 日(金)	〃	250	245	245	239
	〃 7 月 20 日(水)	〃	189	185	185	175
	〃 9 月 16 日(金)	〃	247	240	240	233
	〃 10 月 28 日(金)	〃	184	179	179	168

	平成 28 年 12 月 8 日(木)	〃	141	136	136	130
	平成 29 年 1 月 19 日(木)	〃	264	260	260	257
中 部	平成 28 年 5 月 30 日(月)	名古屋	228	221	221	220
	〃 6 月 22 日(水)	〃	124	119	119	117
	〃 11 月 11 日(金)	〃	95	95	95	95
近 畿	〃 9 月 1 日(木)	大 阪	220	213	213	203
	〃 9 月 27 日(火)	〃	82	78	78	75
	〃 11 月 25 日(金)	〃	131	128	128	122
	平成 29 年 2 月 16 日(木)	〃	251	246	246	246
中 国	平成 28 年 5 月 19 日(木)	広 島	217	213	213	197
四 国	〃 8 月 30 日(火)	高 松	33	32	32	28
九 州	平成 28 年 8 月 5 日(金)	福 岡	214	207	207	202
	〃 9 月 7 日(水)	〃	140	136	136	135
計			3,843	3,747	3,747	3,633

(3)平成29年3月31日現在遊技機取扱主任者合格者数

団 体	全商協	回胴遊商	日工組	日電協	その他	合 計
合格者数	6,000	4,930	1,371	690	9,640	22,631

4 店長・管理職能力開発講習及び試験の実施状況

平成6年度から店長及び店長候補者（以下「店長等」という。）の資質と技術の向上を図るため、店長等能力開発講座（逐次改訂）を刊行するとともに店長等講習・試験を実施している。平成11年度から店長等試験合格者で、所定の講習を受け、試験に合格した者に対して、遊技機管理責任者証（有効期限3年）を交付することとしていたが、平成16年7月1日から改正検定規則等の施行に伴い、この制度を発展的に解消して、遊技機取扱主任者へ移行することとした。平成23年には内容を大幅に改訂して「管理能力開発講座」を刊行するとともに、平成24年度より「店長・管理職能力開発講座」として、業界の管理職に幅広く対応出来るように努めている。

(1) 店長・管理職能力開発講習及び試験の実施状況

場 所	開催年月日	申込者	受講者	受験者	合格者
東 京	平成 28 年 7 月 27 日(水)	26	25	25	24
福 岡	〃 8 月 10 日(水)	11	11	11	10

東京	平成28年9月28日(水)	8	8	8	8
広島	〃 10月26日(水)	8	8	8	7
名古屋	〃 11月8日(火)	17	17	17	16
東京	平成28年11月29日(火)	12	23	23	10
東京	平成29年2月17日(金)	11	10	10	9
合計		93	91	91	84

(2) 店長等試験合格証取得者

平成29年3月末現在	5,307名
------------	--------

5 ボランティア派遣隊

東日本大震災復興支援活動として平成25年度から「みどりのきずな再生プロジェクト」に基づく海岸防災林の再生活動へ参画し、クロマツ等の植栽に派遣を行っている。平成28年度は、宮城県東松島市浜市地区に3,000本のクロマツ植栽に2日間で延べ112名派遣し、4年間で累計7,617本の植栽を行っている。また、熊本地震の被災地復興支援として、救済物質搬送のほか、九州支部ボランティア隊を中心に合計8回、延べ183名の派遣を行った。9月27日から4日間、日遊協皇居勤労奉仕団(43名)が皇居及び赤坂御料地で奉仕活動を行った。日遊協の皇居勤労奉仕は平成22年から8回実施しのべ255名派遣している。

6 女性活躍推進フォーラム

女性活躍推進フォーラムは、業界内の女性の活躍を推進するため、各社に女性活躍の関心を持ち課題を発見してもらうこと、女性のキャリア支援の後押しとして具体的な参加メリットを享受してもらうことを目的に、平成27年度から実施しており、平成28年度は東京と九州の2会場で開催した。東京会場は日本橋三洋グループビルにて、平成28年5月26日、7月8日、10月13日、10月14日、平成29年1月27日の計5回、女性正規社員18名が参加した。九州会場は福岡県遊技会館にて、9月9日、12月8日、12月9日の計3回、女性正規社員8名が参加した。両会場とも、4～5名でグループ分けを行い「キャリアプランニング」または「ワーク・ライフ・バランス」をテーマとして、自社に提案できる企画の討議が行われた。最終回には各グループの企画内容をプレゼンする大会が行われ、最優秀賞が選ばれた。また、キャリア支援の後押しとして、ロジカルシンキング、ワーク・ライフ・バランスの本質、プレゼンテーション、印象度アップに関するセミナーが行われた。

7 会員に対する速報等

- (1) 子どもの車内放置防止対策および依存問題対策の徹底について (お願い) (H28.4.26)
- (2) ちょいパチの導入について (H28.6.7)
- (3) 回収対象遊技機に関する第3次報告について (H28.6.23)
- (4) パチンコ・パチスロ産業14団体「遊技業における健全化推進に関する声明」

について (H28. 6. 27)

- (5) 回収対象遊技機の期限内撤去について (要請) (H28. 8. 19)
- (6) 回収対象遊技機に係る対応について (営業所への措置) (H28. 8. 26)
- (7) 回収対象遊技機に係る対応について (再要請) (H28. 10. 25)
- (8) 回収対象遊技機に係る対応について (営業所への措置) (H28. 11. 28)
- (9) 回収対象遊技機の設置状況調査へのご協力をお願い (H28. 12. 1)
- (10) 回収対象遊技機に係る対応について (最終要請) (H28. 12. 13)
- (11) 「パチンコ店における依存 (のめり込み) 問題対応ガイドライン」に沿った取り組みの徹底について (H29. 2. 3)

## 8 広報誌 (N I C H I Y O U K Y O) (月刊) の発行及び配布状況

(平成29年3月31日現在)

配布先	部数	配布先	部数
日遊協会員	1 1 6 2	全国マスコミ	1 7 9
日遊協会員店	2 7 2	業界誌 (紙)	3 4
全日遊連	5 1	執筆者	3 2
業界団体	6 4	国会議員	2 7
警察本部等	8 1	関係者	3 4 7
警察署	1 1 2 9	合計	3 3 7 8

## 9 遊技機リサイクル推進委員会等

### (1) 遊技機リサイクル推進委員会

平成9年6月に業界団体で設置した検討委員会を、資源有効利用促進法の施行 (平成13年4月1日) に伴い、平成13年4月から「遊技機リサイクル推進委員会」に改称して、遊技機リサイクル (以下「リサイクル」という。) に関する具体的な方策を検討している。この委員会は、業界団体 (日遊協、全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、愛材協) 及びメーカー企業 (日工組7社、日電協5社) で構成し、概ね隔月に1回、日工組会議室で開催している。

平成28年度は、遊技機のリサイクル基準について協議し、平成29年4月1日に関係規定集の改訂を実施し、使用済み遊技機の管理及び解体処理に関するガイドラインを新たに制定した。平成28年度の遊技機リサイクル推進委員会の開催状況は、次のとおり。

回	年月日	議 題
第81回	28. 6. 2	(1) リサイクル選定業者 更新申請について (2) 遊技機リサイクルの現況等について (調査) (案) (3) 平成27年度使用済み遊技機のリサイクル量調査 (案)

第 82 回	28. 7. 29	(1) (株)ソイエンス熊本工場の実査結果について (2) 平成 2 7 年度の実態調査結果について
第 83 回	28. 10. 14	(1) リサイクル選定業者 更新申請について
第 84 回	28. 11. 28	(1) 使用済遊技機のリサイクル量調査 (まとめ) (2) リサイクルWG会議 進捗報告 (3) 選定業者 定期的実査 案
第 85 回	29. 2. 1	(1) リサイクル選定業者 更新申請について (2) 遊技機リサイクル業者の選定基準等の一部改正について
第 86 回	29. 3. 27	(1) 遊技機リサイクル業者選定申請 (新規) (株)エイワ産業 (2) 遊技機リサイクル業者選定関係規定集 (改訂) について (3) 平成 2 9 年度定期実査担当団体について

## (2) 日工組・使用済遊技機回収システムについて

日工組が中心となり、使用済遊技機を効率よく回収し、リサイクルを促進するシステムとして 1 5 年 8 月に構築し、同センターは平成 1 8 年 3 月埼玉県蓮田市から騎西町に移転、最新設備の工場を設置し、九州交換センターは、平成 1 7 年 7 月から西日本の拠点として業務を行っている。また、平成 2 1 年 1 2 月に環境省より、広域認定を取得し、新しい遊技機回収システムの運用を平成 2 2 年 4 月より開始し、再生処理会社に 2 社を加えた。平成 2 7 年度 (平成 2 7 年 4 月～平成 2 8 年 3 月) の回収実績は、1, 8 3 8, 1 3 7 台であった。

## (3) 遊技機リサイクル選定業者の審査

遊技機リサイクル業者選定関係規定に基づき、書面審査のほか 6 団体による申請者 (社) の実態調査 (現地視察) を行い、リサイクル選定業者を選定している。

平成 2 8 年度の選定申請は 1 社、返納が 1 社あり、平成 2 8 年度 3 月末でのリサイクル選定業者は 3 5 社となった。

## 1 0 セキュリティー対策委員会

悪質巧妙化している不正遊技機等の状況に対処し、遊技機のセキュリティーと業界におけるセキュリティー問題全般を検討するため、平成 1 0 年度から「(社) 日遊協セキュリティー問題検討委員会」を設置し、日遊協、全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商及び自工会 (以下「業界 7 団体」という。) から推薦された各 2 名の委員 (委員長は別枠) により、原則として、毎月 1 回検討会を行ってきた。

PSIOの運用及び遊技機・周辺機器の検証並びに遊技産業を取り巻く諸情勢の変化に的確に対応するため、平成 1 4 年 1 月から、業界 7 団体共管の「セキュリティー問題検討委員会」に改称して活動、更にセキュリティー対策を明確に推進する観点から平成 1 8 年 6 月 1 日から「セキュリティー対策委員会」に改称した。この委員会には、警察庁保安課から課長補佐及び係長がオブザーバーとして出席している。平成 2 8 年度の委員会の開催状況は、次表のとおり。議題のほか毎回、PSIOの入力状況、セーフティーネットの相談窓口寄せられた相談内容、不正対策室会議の内容及びゴト対策に関する 4 団体会議の結果の報告を行っている。

(1) 委員会の開催状況

開催年月日	議 題
28. 4. 4(月)	1 当面の課題について 2 その他
28. 6. 15(水)	1 置引き対策について 2 その他
28. 8. 31(水)	1 置引き対策について 2 その他
28. 10. 28(金)	1 置引き対策について 2 その他
28. 12. 21(水)	1 置引き対策について 2 その他
29. 2. 16(木)	1 置引き対策について 2 その他

(2) いわゆるゴト行為等への迅速な対策を講じるためのガイドライン

平成18年3月22日、セキュリティー問題検討委員会構成7団体は、いわゆるゴト行為及び遊技機の不具合等の発生に対して、関係者が迅速に有効な対策を講じることができるようにするためのガイドラインを決定した。内容は、「端緒情報入手時の対応」、「メーカーによる検討」、「遊技機の性能に影響を及ぼすおそれがあるもの以外のものの変更による対策」、「遊技機の性能に影響を及ぼすおそれがあるものの変更による対策」、「ガイドラインの効力等」、「ガイドラインの限界」により構成されている。本ガイドラインは、セキュリティー対策委員会の構成団体7団体に電遊協、平成19年度に新遊工をそれぞれ加え、9団体及び製造業者29社と、同年5月1日付で正式にガイドラインを締結。また、平成25年度は、遊技機からの発火等の客の安全に重大な影響を及ぼす可能性がある事案に対応するため、ガイドラインの追加補正を承認し5月1日施行した。平成28年度は、8団体及び製造業者13社がガイドラインを締結した。

1.1 不正対策室会議

日遊協・伊東慎吾常務を室長として、セキュリティー対策委員会構成団体の実務担当者及び事務局長等が参加し、原則として毎月1回、PSIO(遊技産業不正対策情報機構)の入力情報の報告と分析を行っている。PSIOの新要綱は、平成26年3月25日開催のセキュリティー対策委員会で承認され、4月1日施行された。これによりPSIO協議会が廃止され、セキュリティー対策委員会の下に不正対策室会議を置くことになった。

1.2 一般社団法人遊技産業健全化推進機構

平成17年2月から不正防止対策の推進を柱として、遊技産業健全化推進機構(以下「機構」という。)の設立を目指して、21世紀会構成団体を中心に協議を重ね、12団体により平成1

8年8月8日に有限責任中間法人遊技健全化推進機構を設立した。平成20年12月に一般社団法人に法人格変更。役員は、代表理事以下10人で、第3者による理事6人、業界団体の理事4人で構成されている。

平成28年度の1年間の検査活動について、全国51都道府県方面、1,722ホールへの立入を行い、ぱちんこ遊技機9,524台、回胴式遊技機10,135台、玉計数機183台、メダル計数機45台の検査を実施している。誓約書提出ホール数は10,995店舗（組合員10,178ホール、非組合員817ホール）となっている。

### 1.3 関係団体連絡会議

平成28年度は業界関係の各レベルでの会議が多数開催された。

#### (1) 21世紀会

平成27年1月27日にはパチンコ・パチスロ21世紀会による「安心娯楽宣言」を発表しホームページ等による対外的なPRを開始した。平成28年1月26日には、14団体による遊技業界における健全化推進に関する声明を決議した。平成29年1月27日には、パチンコ・パチスロ依存（のめり込み）問題に対する声明を決議し、その後の賀詞交換の席上にて発表した。

#### (2) 6団体代表者会議、9団体連絡会議

21世紀会の幹事団体である全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、日遊協の6団体で会議を開催し、業界の緊急課題や自主規制等について検討を行っている。平成28年度は、回収対象遊技機の撤去を確実に実行するために9団体連絡会議を定期的で開催した。

#### (3) 遊技機流通制度連絡会

平成28年2月1日に制定された遊技機製造業者の業務委託に関する規程等を円滑に運用するため、6団体および遊運協の7団体により定期開催され、新流通規定の運用上の問題や課題を共有している。

#### (4) 依存問題対策推進会議

業界の最優先課題であるパチンコ・パチスロ依存問題の対応を協議する会合として発足し、平成29年2月9日に初会合し、その後随時開催している。6団体代表者および委員を構成メンバーとし、21世紀会の構成団体がオブザーバーとして参加している。

### 1.4 遊技産業新経営者会議

遊技産業の次世代を担う30代、40代の若手経営者、経営候補者が一堂に会して研鑽を深める遊技産業新経営者会議を平成25年8月27日に発足した。平成28年度は、全3回開催し、業界内の講師だけでなく、異業種の経営者からも学ぶべく外部講師を招聘し勉強会を実施している。

#### (1) 勉強会の講師と講演テーマ（敬称略）

回	日程	講師	テーマ
第12回	28.7.7	第80代警視總監 井上 幸彦 様	危機管理について

第13回	28. 11. 14	徳島文理大学総合政策学部 鍛冶 博之 様	次世代リーダーたちへの提言 ～大学教員の視点から～
第14回	29. 2. 24	(株)マルハン 執行役員営業本部長 實川 裕一郎 様	Maruhan's Solution ～マルハンの課題解決～

#### 1 5 ぱちんこ産業合同説明会

ぱちんこ産業合同説明会は、ぱちんこ業界への就職促進、若年層ユーザーの掘り起しを目的に、平成22年度から開催している。平成28年度は、平成29年3月1日、(株)リクルート主催の「リクナビ2018 就活開幕★LIVE」（幕張メッセ）にて、『業界理解セミナー パチンコ・パチスロ編』として出展。就職活動中の大学生650名を動員し、ぱちんこ業界についての講演、協賛企業の会社案内や業界に関する資料の配布等を行った。また、パチンコ業界特集のホームページを作成し、大学生に向けてぱちんこ業界の認知度向上に努めている。

#### 1 6 パチンコ&パチスロフェスタ

平成22年より、パチンコ・パチスロ遊技や遊技業界の取組みを業界内外にPRすることを目的に遊技機の展示・試打を中心とするイベントを開催している。平成28年4月29日、30日に幕張メッセにて行われたニコニコ超会議2016内に超パチンコ&パチスロフェスタ2016ブースを出展した。また、ニコニコ生放送も使用し、ステージイベントの様子等を放送した。ブースには2日間で8,566名の来場、生放送は22,919名の視聴があった。平成28年度は5回目の開催となる。

#### 1 7 ファンアンケート調査、パチスロユーザー調査

今後の業界発展に資することを目的に、パチンコ・パチスロファンの特性、プレー実態、ニーズ等とその動向変化を把握するための定点観測調査として2007年より実施している。全国の日遊協加盟企業、九遊連青年部協力による加盟ホールの来店客へ、ホールスタッフによる聞き取り調査を行っている。2016年は30社127ホールから2,242名の調査を行った。また、日工組と日電協の協力の下、インターネット調査を利用したパチスロユーザー調査も行い、未経験者、休止ユーザーも含む2,052名の分析も行った。